

「IPv6セミナー2011」開催のお知らせ

開催概要

広島地域IPv6推進委員会は、地域におけるICTの利活用を推し進め、豊かなネットワーク社会を形成するために、次世代のインターネット技術であるIPv6の普及促進を行なう活動を続けております。

昨今、企業等においてパンデミックや災害への対策の必要性が注目されており、従業員の安全の確保や情報システムのクラウド化による事業継続性の確保、通信経路の多重化による通信インフラ強化策等が検討され、実施されてきました。

今回のセミナーでは、3月11日に発生した未曾有の東日本大震災に対して、これらの対策がどのように機能したか、事業を再開する過程でどのように役立てられたかを検証するとともに、これから中長期に渡る復興の中でICTが果たすべき役割や将来像等について、各分野に精通した方々をお招きし講演を行って頂きます。

本セミナーは、情報システムにおける危機管理の観点から、経営者や情報システムの管理者を主な対象としていますが、それに限らず、製品やサービスを開発している技術者や研究者、SE・SIなど、広くIPv6に興味がある方々にも有益な内容となっております。皆様のご参加をお待ちしております。

※当セミナーは平成23年度情報通信月間参加行事です。

内 容

日 時	2011（平成23）年6月17日（金）13:30～17:00（受付開始13:00～）
場 所	広島県立総合体育館（広島グリーンアリーナ）地下1階 大会議室（広島市中区基町4番1号） http://www.sports-hiroshima.jp/01_hpssc/facility.shtml
参加申込	5月中旬よりWebページにて事前申込を開始。（締切：2011（平成23）年6月14日（火）10:00まで） ※当日参加も可能ですが事前申込み優先とさせていただきます、満席の場合お断りする場合があります。 http://www.supercsi.jp/ipv6deploy/
定 員	120名（定員になり次第、申し込みを締め切ります。）
参加費	無料
対象者	・情報システムの管理者および経営責任者 ・ネットワーク製品（ハード、ソフト）やサービスの開発者、研究者、及び提供者 ・上記に限らず、広くIPv6に興味がある方
テーマ	持続可能なサービスのために
プログラム	13:00～13:30 受付 13:30～13:35 開会挨拶 広島地域IPv6推進委員会 委員長（広島市立大学大学院教授） 前田 香織 13:35～14:35 第1部「インターネットの進化と可能性」 慶応義塾大学 / WIDEプロジェクト 中村 修 氏 14:35～14:45 休憩 14:45～15:45 第2部「緊急地震速報の活用事例～東北地方太平洋沖地震のその瞬間東京では～」 NTTコミュニケーションズ株式会社 小林 年晴 氏 15:45～15:55 休憩 15:55～16:55 第3部「データセンターのあるべき姿 ～クラウドコンピューティングに最適化した石狩データセンターのご紹介～」 さくらインターネット株式会社 田中 邦裕 氏 16:55～17:00 閉会挨拶

主 催	広島地域IPv6推進委員会
協 賛	情報通信月間推進協議会、日商エレクトロニクス株式会社中国支店、株式会社日立製作所中国支社、株式会社ハイエレコン、ネットワンシステムズ株式会社
後 援	総務省中国総合通信局、中国情報通信懇談会、情報処理学会中国支部、電子情報通信学会中国支部
問 合 せ 先	広島地域IPv6推進委員会事務局 E-Mail: ipv6-sec@supercsi.jp ホームページ： http://www.supercsi.jp/ipv6deploy/